

# 自分の「夢」や「志」について考えよう

「自分ってどんな人間なのだろう」「どんなことに向いているのだろう」「将来何になりたいのだろう」など、自分の夢について、様々なことを考えている人も多いのではないのでしょうか。

「自分が社会の中でどんな役割を果たすべきなのか」を主体的に考えながら、よりよい生き方をめざして、自分のえがいた「夢」を「志」に高め、その実現に向かって努力をしていくことが大切です。「夢」や「志」を実現していく上で、これから中学校卒業までの時期は、自己の適性を見つめながら、よりよく生きていくための進路選択をしていく重要な期間となります。

次の①～⑤は、今後の中学校生活の中で、ぜひ実行してほしいことがらをまとめたものです。

## ① 生き方を考えよう

- 自分の生き方を考え、「夢」を「志」に高めよう。
- 「働く」ことにはどんな目的や意義があるのかを考えよう。



## ② 自分のよさを知ろう

- 自分が「興味や関心をもっていること」や「やってみたいこと」が何かを考えてみよう。
- 自分のよさ（個性）や向いていること（適性）について考えてみよう。

## ③ 職業や上級学校の様子を知ろう

- 様々な職業や、高等学校・専修学校等の内容や特色を調べてみよう。
- 自分が職業に就くまでのいろいろな方法について調べてみよう。



## ④ 相談しよう

- 先輩（家族、地域の方、企業関係者等）の生き方に学ぼう。
- 進路についての悩みや不安は、先生、保護者、友だちなどに相談しよう。

## ⑤ 計画を立ててみよう

- 自分の将来について、夢のふくらむ楽しい計画を立ててみよう。
- 日々の生活を振り返りながら、進路計画を次第に充実したものにしよう。

今の自分の「夢」や「志」を書いてみよう



# ～自分が将来「働く」ことについて考えよう～

## 1 「働く」ことについて考えよう

- 働くのは、一体何のためだろうか。働くことの目的とは、どんなことだろうか。
- 働くことを通して、何を達成することができるだろうか。
- 働くことには、どんな意味があるのだろうか。



## 2 自分について考えよう

- (1) 興味や関心をもっているのはどんなこと？

.....

.....

- (2) 自分のよさはどんなところ？ どんなところを伸ばしたい？

.....

.....

- (3) 自分はどんなことに向いている？

.....

.....

## 3 将来の自分を想像しよう

- (1) どんな職業に就いている？ どんな社会人になっている？

.....

.....

.....

- (2) なぜその職業に就きたいと考えたのかな？

.....

.....



#### 4 希望する職業に就くための方法を考えてみよう

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

- 希望する職業に就くまでには、どんな道すじがあるのだろうか。
- どんな資格や免許を取得する必要があるのだろうか。
- 中学校卒業後は、どんな進路を選択すればよいのだろうか。

#### 5 中学校卒業までの具体的な目標を立てよう

##### (1) 学習面

-----

-----

-----

-----

-----

##### (2) 生活面

-----

-----

-----

-----

-----

- 進学や就職をして、将来、社会人として活躍するためには、今、何をしなければならないのだろうか。具体的に考えてみよう。

～ 先生から ～

-----

-----


-----

-----

-----

-----

-----





# ～未来に向かって身に付けたい4つの能力～

## ○他者を理解しよう！

友だちのよさや気持ちを理解し、互いに認め合うことを大切にしながら行動していこう。

## ○良好な人間関係を築こう！

身近な仲間だけでなく、新しい仲間の輪を広げよう。いろいろな活動に積極的に参加し、多くの人と接しながら、チームを組んで互いに助け合おう。

### 人間関係形成・ 社会形成能力

- 他者の個性を尊重しながら、自己の個性を発揮する。
- 様々な人々とコミュニケーションを図り、協力してものごとに取り組む。

## ○自分を知ろう！

自分が「したいこと」「できること」を理解し、しっかりと自分と向き合いながら、自分のよさを伸ばそう。

## ○自分の役割を考えよう！

社会が自分に「求めていること」を考えながら、困難なことにも果敢に挑戦しよう。

### 自己理解・ 自己管理能力

- 自分が「したいこと」「できること」について、社会との関係を保ちつつ、主体的に取り組む。
- 自分の役割を理解し、進んで学ぼうとする。

### 課題対応能力

- 自分の役割を果たしていく上での課題を、発見・分析していく。
- 適切な計画を立てて、課題を処理し、解決していく。

### キャリア

#### プランニング能力

- 自分の将来について考え、様々な情報を取捨選択・活用して主体的に考えていく。
- 自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行う。

## ○問題意識をもって

### 自分の役割に取り組もう！

自分の役割を果たしていく上で、課題となることを発見し、様々な情報を活用して解決の方法を考えよう。

## ○目標を立て、 計画的に取り組もう！

発見した課題を解決するために目標を定め計画的に取り組もう。

## ○「学ぶこと・働くこと」 の意義を理解しよう！

「学ぶこと・働くこと」の意義や役割を理解し、様々な情報を活用しながら主体的に行動しよう。

## ○責任をもって 選択・決定しよう！

自分の個性や興味・関心を理解し、自分の果たすべき役割を考えながら進路を選択しよう。

将来を見つめながら、  
今できることに精一杯取り組もう！



# 進路の選択は「生き方」の選択です

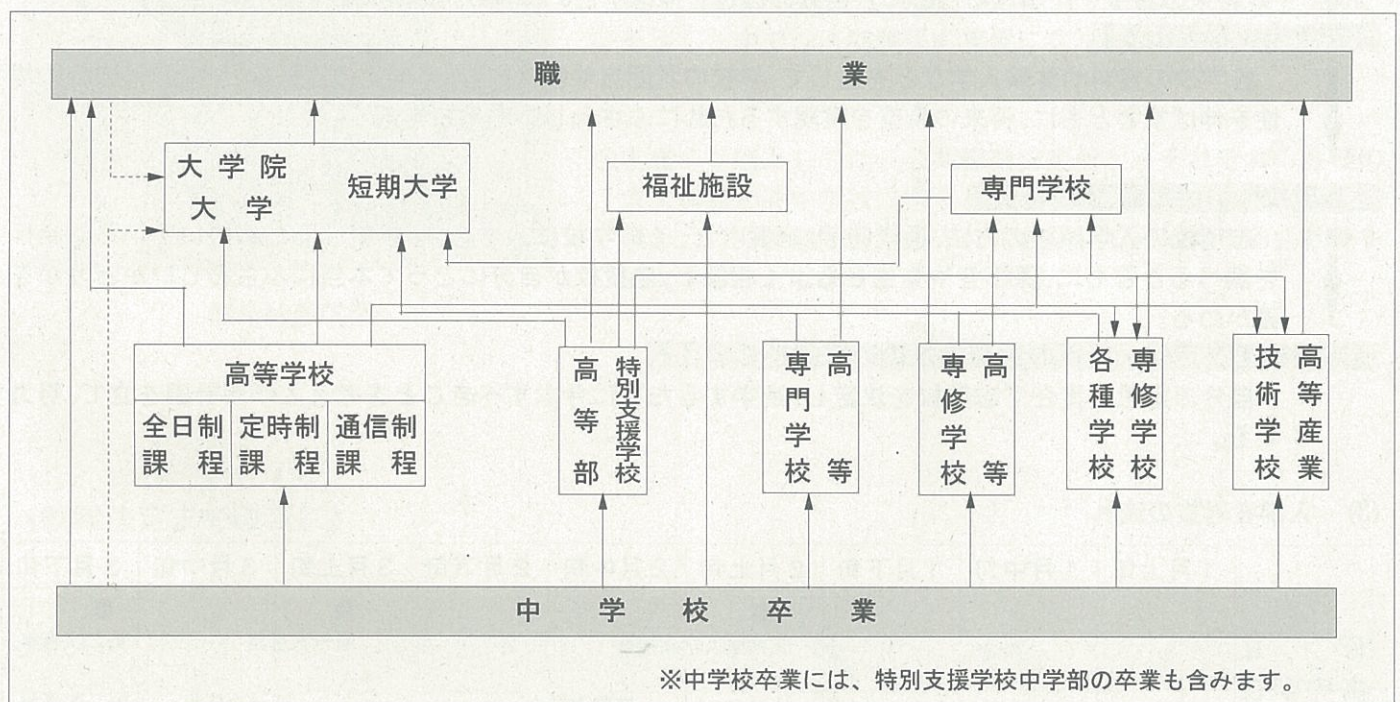
## 1 自分の「生き方」探しのスタート

○皆さんは、中学校を卒業してから学校に通ったり仕事をしたりと、様々な道をたどりながら一生を生きていきます。これまでは、まわりの友だちと一緒に小学校に通い、中学校に進学してきましたが、これからは「自分で進路を選ぶ」ことが必要になってきます。皆さん自身の人生ですから、自分で自分の「生き方」を決めていくことが大切です。

○「働く」ということは、生きていくために必要なものを手に入れるための活動であるだけでなく、社会の一員としての役割を果たすということでもあります。このことは、自分のもっている能力を発揮し、適性に応じて、生きがいのある生活を送るということにもつながっていきます。

○私たちの周りには様々な職業のどれもが、私たちの社会になくてはならないものです。そして、社会の変化に対応して新しい職業も生み出されています。これらの様々な職業の中から自分に合った職業を見つけ出すためには、どのようなことを学び、どう生きていけばよいのか、自分自身の「生き方」を考え、探し求めていくことが必要です。

## 2 中学校卒業後の進路



## 3 高等学校等へ進学するに当たって

### (1) 高等学校等の学習

高等学校では、小・中学校の基礎の上に、さらに高度な学習を積み重ねていきます。

学科によっては、専門的な内容も学習します。また、選択科目が多くなるので、自分の興味・関心や適性などについて、普段からよく考えておくことが必要です。

また、特別支援学校高等部では、一人ひとりの教育的ニーズに応じて、自立や社会参加に向けた主体的な学習を進めていきます。



各学科で学ぶ教科・科目はそれぞれ次の図のようになっています。

普通科	各学科に共通する教科												
	国語	歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報			
専門学科	各学科に共通する教科										専門学科において開設される教科		
	国語	歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報			
総合学科	必履修教科・科目										産業社会と人間	総合選択科目	自由選択科目
	国語	歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	家庭	情報			

教科の授業以外に、自ら考え、問題を解決する力を身に付けるため、各学校が地域や学校の特色を生かして行う「総合的な学習の時間」があります。また、ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などの特別活動も盛んです。こうした様々な学習活動に積極的に参加することで、多くの人たちとふれあい、これからの社会の中でたくましく生きていく力を身に付けます。

また、特別支援学校高等部では、高等学校に準じた教科・科目の学習や自立活動に取り組んでいます。

## (2) 志望校決定までの手順

### 【なぜ進学するのかを考えよう】

↓ 「将来の希望をかなえるために」「自分の個性を伸ばすために」など、進学の目的をはっきりさせる。

### 【志望校を考えよう】

↓ 各学校の資料や体験入学などを通して、学校の雰囲気や教育内容、卒業生の進路などを調べ、自分の個性を伸ばすとともに、将来の希望を実現するためにふさわしい志望校を選ぶ。

### 【志望校について確認しよう】

↓ 志望校の入学試験の方法、通学時間、経費など、その学校に入学し、学び続けるためのいろいろな条件を調べるとともに、保護者や先生ともよく相談し、志望校が自分にとって本当にふさわしいかどうかを確認する。

### 【志望校を決定し、希望の実現のための準備をしよう】

自分の意思と責任で志望校を決定し、進学するために今なすべきことを考えて学習計画を立て、努力する。

## (3) 入学者選抜の流れ

	1月上旬	1月中旬	1月下旬	2月上旬	2月中旬	2月下旬	3月上旬	3月中旬	3月下旬
公立高等学校				■ 推薦入学面接等			■ 第一次募集		■ 第二次募集
					□ 推薦入学合格内定通知		□ 第一次募集合格発表		□ 第二次募集合格発表
私立高等学校	← 推薦・専願入試 →								← 一般入試(二次) →
		← 合格発表 →							← 合格発表(二次) →
			← 一般入試 →						
			← 合格発表 →						
国立高等専門学校			← 推薦選抜 →			■ 学力検査選抜			← 合格発表 →
			← 合格発表 →						

※入学者選抜については、おおまかな流れを示しています。必ず実際の要項等で各学校の日程等を確認してください。

※推薦入学（推薦入試）及び第二次募集については、実施しない学校・学科・コースもあります。

※特別支援学校高等部については、最寄りの特別支援学校にお問い合わせください。



#### 4 就職するに当たって

○私たちは、一生の中で職業生活に多くの時間を使います。働くことに「生きがい」や「喜び」を感じながら人生を送ることができるように、「自分の個性を発揮すること」「社会に貢献すること」「収入を得ること」など、働くことの目的や意義を十分に考えて職業を選びましょう。

○職業には多くの種類があり、資格・免許を必要とするものから、ほとんど必要としないものまで様々です。同じ職業でも、会社によって内容に違いがあります。保護者や先生、公共職業安定所（ハローワーク）の人などに相談し、調べてみましょう。



職場体験学習

○自分の個性が、希望する職業の求めている条件とうまく一致しているかどうかは重大な問題です。保護者や先生に相談したり、学校で行われる諸検査の結果を参考にしたりして、自分の希望や考えをしっかりとっておくことが大切です。希望する職業の種類や仕事の内容が、自分の能力・適性、興味・関心と合っているかどうかを確かめ、自分に合った職業を選びましょう。

○どの職業にも仕事に必要なルールがあり、自分勝手な行動や行為などは許されません。また、給料が支給される代わりに、各自の責任において仕事をやり遂げなくてはなりません。さらに、職場の人たちは年齢、経験、考え方などが様々であり、そうした中では人間関係も重要になり、協調性も要求されます。

○就職の手順としては、公共職業安定所からそれぞれの会社の求人情報が各中学校に送られてきたら、家族や先生とよく相談し、公共職業安定所の人のお話も聞いて、就職する会社等を決定することになります。



職場体験学習

#### 《就職決定までの流れ》

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						○6/20～ 求人票受理開始					
						○7/1～ 求人連絡（求人票及び求人要項の送付）					
						○10月～職業相談及び適性検査					
							○1/1～				
								選考開始			